

2020年10月1日

gekidanU 家公演企画 Vol.4

「With Home」

上演に向けての対策及び公演ガイドライン

【はじめに】

2020年12月4日より予定しております上記公演に付きまして、コロナウイルス感染拡大への防止対策及び中止条件を含めた本ガイドラインに沿って、公演実施及び上演を予定しております。ご一読いただければ幸いです。

【基本方針】

我々gekidanUでは、2012年の活動開始より拠点とする南千住での公演を、近隣の皆様のご協力と多大なるご理解をいただきながら行ってまいりました。創作と地続きになった「まち」の存在なしでは我々の活動は行えません。

そうした皆様のご理解ご協力もあり、本年もこのような状況の中でも精力的に活動を続けることが出来ました。

それぞれ3月、7月末に行いました Produce 企画 Vol.2 及び、「弔 EXPO'20」では、独自ガイドライン制定の下実施し、野外劇である「弔 EXPO'20 は」下記ガイドライン考慮の上で国内感染状況と近隣の皆様への影響を考慮し、2日分の公演を中止とさせていただきますが、その後観察期間の2週間経過後も体調感染者を出すことなく、無事公演を終えることが出来ました。

https://gekidanu.com/wp-content/uploads/tomurai20_guideline.pdf

屋内での公演となる今回に関しても、配慮を尽くした上で実施してまいります。

【具体的な対策】

<公演前>

- ・稽古場及び公演会場となる「アトリエ 5-25-6」では、常時換気の下、密閉空間にならぬよう稽古を行ってまいります。
- ・稽古参加者にはマスクの着用を義務付けます。
- ・備品等の消毒を定期的に行います。
- ・稽古場に石鹸、アルコール消毒、うがい薬を常備し、入室後の手洗いうがい、消毒を全員に必須にいたします。
- ・清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底いたします。
- ・作業を終えた後は、必ず手洗いを行います。
- ・定期的に検温を実施し、発熱者、体調不良者が出た場合は直ちに一定期間の参加を停止します。
- ・来場予約者には事前にマスクの着用の要請及び、下記の症状に該当する場合、来場を控えるようご連絡します。
- 発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
- 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合

<公演当日>

- ・客席は余裕のある形で配置し、会場定員は昨年実施時の50%、1回15名上限での実施とします。
- ・劇場内は終日換気を行います。
- ・入場列は適切な距離を取ってお並びいただけるよう誘導します。
- ・受付にはビニールカーテン及び消毒液を設置します。
- ・受付時に非接触型検温器で来場者の体温を計測し、37.5℃以上の発熱があった場合はご観劇を控えていただきます。
- ・来場者にはマスクの着用を要請します。もしお持ちでない場合は劇団側で手配したものを着用いただきます。
- ・公演関係者には各自検温を徹底し、出演者内での体調不良者が出た場合には、当該者の出演を停止する他、上演中止を含めた対応を検討します。スタッフの体調不良に関しても同様の対応とします。
- ・上演中の役者を除き、スタッフはマスクの着用を必須とします。
- ・上演後の面会については統制を取り、適切な距離を持って最低限の形で行います。

【公演中止の判断について】

下記の場合は公演形態の変更/もしくは中止を判断します。

-自治体から当該期間でのイベントにおける有観客での上演自粛要請が行われた場合

-本番期間前 14 日以内に公演関係者に感染者/感染が疑われる者が出た場合

-近隣の方々の要請があり、協議の上変更/及び中止措置が必要だと判断した場合

-その他、劇団として上演不可能であると判断した場合。

今後変化する状況に合わせ対策も適宜更新していきながら、
出来る限り安全な状態での作品づくり/上演を目指してまいります。

gekidanU

遠藤遊 ヒガシナオキ よりぐちりょうた 電気マグロ 鈴木明日歌 しろ。